

いつまでも永く快適に暮らせる住まいを目指す
旭化成ホームズの「ロングライフ」という発想
時代のニーズ、流行、そしてお客様の声が
心地よい空間づくりのヒントになっています。

実際のご入居宅に学んだ、新しい収納の最進化形をどうぞご覧ください

まごびっくりに、実際にご入居されて
いる方々の声を活かすこと。旭化成
ホームズでは、いつもそんな思いを大切にし
た住まいをご提案しています。その中でも、

2006年にご入居宅への訪問調査をおこ
ないより快適な住まいに役立つたもの
のが「収納」です。その経験と研究から生ま
れたのが、「ARECS」※。ご入居宅の問題
とニーズを踏まえ、また社会や暮らしの変
化にも対応した、現代の住まいにフィットす
る収納プランを開発しました。ペーベルハウ
スでつちかつたノウハウをマンションづくり
に活用しています。

**だしつぱなし、おきつぱなし
すつきりしない住まいの原因に**

うして収納が上手にできないのか。
その答えは、ご入居宅への訪問調査の
中にありました。すつきりした住まいを邪魔
してしまったもの。それは、「だしつぱなし」や「お
きつぱなし」という各家庭の感じにでもある
「ぱなし」状態。リ
ビングのテーブル
に雑誌が出てっぱな
なことになつたり
キッチンの床に買い
置きのビール箱が
置きっぱなしになつ
てつたりと、気が付



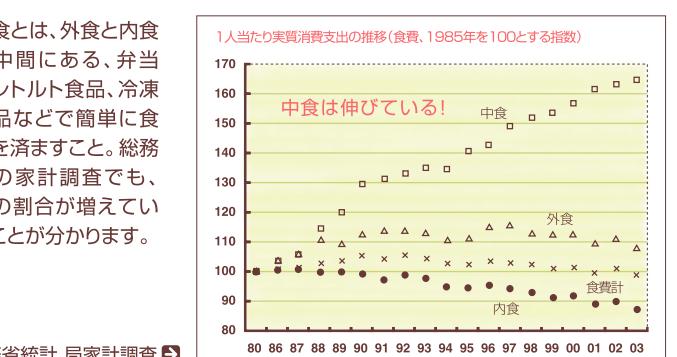
収納の進化

収納は今、ここまで進化している

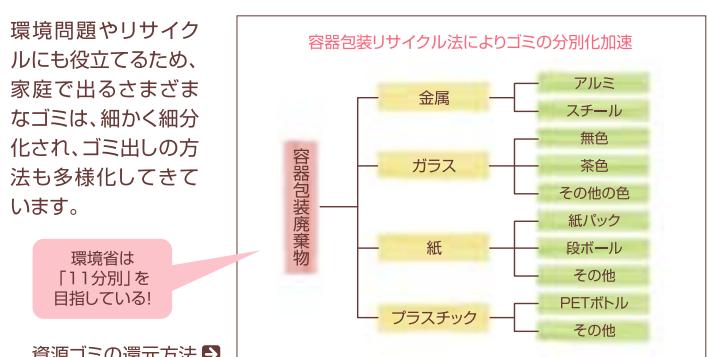
かならず住まいに色々な物があふれて
いたのです。

現 代の私たちの暮らしは、10年前、20年
前と比べてすいぶん変化してきました。
その中でも、食生活の変化と、環境問題
への取り組みが、大きなものとして挙げられ
るでしょう。実はこのひのこのテーマは、ご家
庭の収納にも意外な影響をおぼしていただ
けます。まず、食生活の変化を考えてみると、
現代の私たちの生活で増えてきたのが、いわ
ゆる「中食」というスタイルです。中食とは、
スーパー・デパ地下のお惣菜やお弁当、レト
ルト・冷凍食品などで手早く簡単に食事を
済ますこと。背景には、女性の社会進出や、
電子レンジの普及などがあるとされ、それに
ともなって、こうした食料品の貯蔵を各
家庭に急速に増えてしまったのです。そのため、
パスタソースや冷凍食品、インスタント麺と
いった物の収納スペースが住まいの中でも意
外な場所を占めるようになりました。また、
環境問題も社会で大きく取り上げられるに
つれ、家庭のゴミ出しにも変化があらわれ
ようになりました。リサイクルのための分
別によつて、「ごみ箱」や「ごみ置き場」も多様化。資
源ごみをいかに効率よく片付けるかといつ
のめ、考慮すべき収納の要素となつたのです。

置き家電（電子レンジ・炊飯器・トースター）は、いつでも使いやすい場所
にレイアウトするように考えました
(4)。毎日おいしいお料理をつくるのも、物がすつきりと丘付したキッチンなり
もつと快適です。気持ちのいいキッチンで、快適なお料理づくりを楽しんでください。
一方で収納は、ただ物がしまさえれば良いとい
う説ではありません。インテリアの一部として
見せたいお洒落な収納もあれば、掃除用
品などしっかりと隠しておきたい物をしま
うための収納もあります。この考えに基づ
いて、さまざまな収納スタイルをご用意して
います。たとえば、大小いろいろな大きさ
の掃除用品を収納するのに便利な「マルチ
収納(5)」、スポーツ用品やアウトドア用
品など大きな荷物も収納できる「納戸」、



食生活の変化とゴミの多様化



中食とは、外食と内食の中間にあ
る、弁当やレトルト食品、冷凍
食品などで簡単に食事を済ますこと。
総務省の家計調査でも、
その割合が増えていくことが分かります。



「ごときれいに収納したり、重い物を出し入れしや
すくしたり、細かな配慮を施しました。」



「ごときれいに収納したり、重い物を出し入れしや
すくしたり、細かな配慮を施しました。」



棚部分の奥行きを抑えて扉にも収納スペースを設置
し、大小さまざまな物を効率よく収納できます。



※カウンター収納イメージ写真

■ご相談・お問い合わせは
旭化成ホームズ／カスタマーセンターへ TEL:0120-937-558

**idea 1 限られた床面積でなく、
「かべ面積」で考える収納計画**

戸建てのようにガレージや物置の取れない
マンションでは、限られた空間をいかに効
率よく収納スペースに割り当てるかが重要
です。ペーベルハウスの「ARECS」の「か
べ面積」という指標は、マンションでも有効
であることが分かりました。調査の結果、
CDやDVD、雑誌などの戸口で使う物は
ほとんどの物が奥行き30cmに納まるとい
う事実に着目。戸口には、奥行き30cmの「壁
面収納(1)」や「カウンタートップ収納」とい
うスペースを積極的に採用しようと考えま
した。これにより、お客様や家族の集まる
リビング空間を、いつでも美しくすっきり
と演出できるのです。

**idea 2 まず物が一番集まる
キッチンにこそ着目**

家にいる時間が「一番長い奥さまにとって、キ
ッチンの機能性や快適性はいつも重要なテ
ーマです。だからこそ、私たちは、キッチン
廻りの収納スペースについても根本から見
直しました。まず、これまでの課題と
しては、前のページでも触れましたが、現
代の家庭を取り巻くライフスタイルの変
化が、キッチンにも大きな影響をおよぼし
ていることが挙げられます。資源ごみや燃
えるごみを分別して置いておくこと、そしてレトルト食品などのストック
を整理して収納すること。こうした用途に
応じた収納スペースを確保しておかなければ
、キッチンは無造作に物が散らかつた印象の場所になってしまいます。そこで私
たちがご提案しているのが、食器棚に「戸
型置きスペース(2)」や、食品を奥まで収
納して見やすくて出しやすい「内引き出し」、
箱買いのペットボトルやビールといった重
い物をスムーズに収納できる「地盤なしス
ペース(3)」といった適材適所の収納計画
です。また、ご家庭にある、3大出し

**idea 3 隠す、見せる、使う
収納にもスタイルがある**

置き家電（電子レンジ・炊飯器・トースター）は、いつでも使いやすい場所
にレイアウトするように考えました
(4)。毎日おいしいお料理をつくるのも、物がすつきりと丘付したキッチンなり
もつと快適です。気持ちのいいキッチンで、快適なお料理づくりを楽しんでください。
一方で収納は、ただ物がしまさえれば良いとい
う説ではありません。インテリアの一部として
見せたいお洒落な収納もあれば、掃除用
品などしっかりと隠しておきたい物をしま
うための収納もあります。この考えに基づ
いて、さまざまな収納スタイルをご用意して
います。たとえば、大小いろいろな大きさ
の掃除用品を収納するのに便利な「マルチ
収納(5)」、スポーツ用品やアウトドア用
品など大きな荷物も収納できる「納戸」、

**idea 4 ご家族の工夫やアイデアで、
住まいをもっと快適に**

これまでお話ししてきたように、私たち
は、収納というテーマを深く追求す
ることで、現代の暮らしにマッチした快適
な住まいづくりのお手伝いをさせていただ
きます。でも、やはり住まいといつては、
各ご家庭の暮らし方に十人十色であると
いっています。でも、やはり住まいといつては、
も言えるのでしょうか。だからこそ、お住まいに
直したり、ちょっとした工夫をして、本
当に快適な収納をつくっていただきたい
と考えています。「収納にこだわることは、
暮らしはもっと素敵にする」と。ぜひ、ご
家族で、収納上手な住まいづくりにチャレ
ンジしてください。